

- ◆企画＝文化庁
- ◆製作＝株式会社桜映画社
- ◆協力＝東京国立近代美術館  
岐阜県現代陶芸美術館  
山口県立美術館  
萩市  
下瀬信雄(写真)
- ◆カラー 37分

# 萩焼

## 十二代三輪休雪の鬼萩



鬼萩割高台茶碗



### 求道の造形

#### 十二代三輪休雪の鬼萩

岐阜県現代陶芸美術館館長  
榎本 徹

これは記録の映画ではない。気迫の映画である。このような形で十二代三輪休雪の仕事が後世に伝えられることを、まず喜ぶたい。

十二代三輪休雪(先頃号を寿雪と改めたが、ここでは映画のタイトルどおり、休雪と呼ばせていただく)は、一九二七年(昭和2年)兄休和の指導のもと、家業である作陶の世界にはいった。この年は休和が十代休雪と号して、家業を継いだ日であり、三輪窯にとって節目ともいべき年である。ここから長い修行の期間をへて、休(この号にしたのはまだ休雪の半人前であるという思いからだという)を号して作品を発表するのは一九五五年(昭和30年)であり、すでに45歳であった。

45歳という遅い出発であったが、その時点から休雪茶陶の方向は明確であった。「茶碗といえば、井戸か割高台だが、自分は井戸をとらず割高台をとった」とのちに語っているが、自己の獨創性を最大に生かせるものだけをつくるというこの姿勢こそ、茶陶の作家につきまとう職人性を払拭するものであり、まさに休雪茶陶の根幹をなすものである。一九六〇年代から七〇年代にかけて休雪が試みた、ろくろを使わず、土を割り削ぎ、削り貫いた作品は、そのような姿勢を端的に示すものである。そして、鬼萩である。荒砂を極限まで混入した土で、茶碗を引き上げるのはどれほど難しいことか。それを熟知する休雪があえて挑む。この荒砂と化粧として打たれた見島土とが相まって、厚くかけられた釉薬(休雪白)は造形的な迫力を生み出すのである。

家業に入つて76年、休雪を号して36年、その号を長男龍作に譲つた今年、93歳の休雪にとつても、三輪窯にとつても節目の年になった。

この映画は、このような年に華をそえるものであり、年を経ること凄みをます、その求道の造形をあらためて心ゆくまで味わいたい。

# 十一代 三輪休雪の「鬼萩割高台茶碗」制作工程



①土踏み



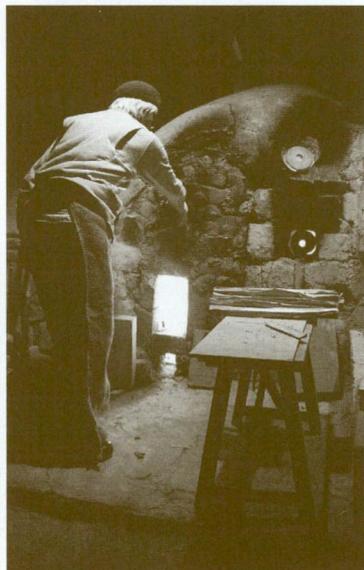
②鬼萩茶碗の成形



③割高台の削り



④釉薬掛け



⑤窯焼き (写真協力 桑野恒郎)



## 十一代 三輪休雪(寿雪)のプロフィール

### 1910年(明治43年)

山口県萩市に生れる。本名、節夫。中学校を卒業後、兄・十代休雪(休和)に師事して家業に従事する。のちに川喜田半泥子に師事し茶陶制作の神髄を学ぶ。

### 1967年

十代が隠居し、十一代休雪を襲名。兄の休和が大成した休雪白を継承しつつも、休和の温和な作風に對し、個性を強く打ち出した造形的な茶碗や水指を制作。なかでも荒砂を混入した土を用いた鬼萩茶碗は十一代休雪の作陶を代表する。

### 1983年

「萩焼」では休和に続き二人目となる重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。

### 2003年4月

休雪の名を長男の龍作に譲り、寿雪と号す。

### ◆製作スタッフ

製作	山本孝行
監督・脚本	村山正実
演出補佐	山田和広
撮影	村山和雄
撮影助手	今野聖輝
	新藤多門
応援撮影	山屋恵司
照明	本橋俊男
照明助手	佐藤大和
編集	吉田栄子
ネガ編集	加納宗子
選曲	山崎 宏
録音	荒井富保
	アオイスタジオ
効果	帆苺幸雄
タイトル	青映社
現像	イマジカ
語り	佐藤 慶

## やきもの・そのわざの心を伝える

### ◆民芸陶器(縄文象嵌)

—島岡達三のわざ—【英語版あり】  
37分

教育映像祭最優秀作品賞・文部大臣賞  
日本紹介映画・ビデオコンクール  
優秀作品賞  
文部省特選 他

VHS=55,000円(団体使用権付)  
16ミリ=260,000円

### ◆小鹿田(おんた)焼

34分

教育映像祭最優秀作品賞  
JPPAアワード'97ミクサー  
プログラムⅡ部門ゴールド賞・  
ミクサー部門グランプリ  
文部省特選 他

VHS=55,000円(団体使用権付)  
16ミリ=240,000円

### ◆色鍋島

【英語版あり】

29分

毎日映画コンクール教育文化映画賞  
ゴールデンマキュリー  
国際映画祭金賞  
芸術祭大賞  
文部省特選 他

VHS=50,000円(団体使用権付)  
16ミリ=195,000円

\*表示価格は消費税別の価格です。

◎製作

株式会社 **桜映画社**

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-1 千駄ヶ谷ビル4階

TEL.03-3478-6110 FAX.03-3478-5966 <http://www.sakuraiga.com>